

中種子町地域公共交通総合連携計画 概要版

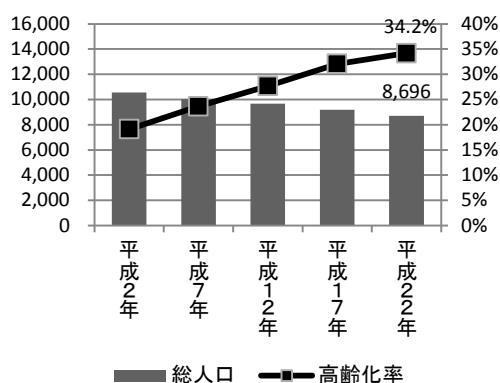
**平成 25 年 3 月
鹿児島県中種子町**

1. 町の現状

(1) 人口

- 本町の総人口は、平成 22 年は 8,696 人となっており、20 年間で 1,856 人（17.6%）減少している。
- 高齢化率は一貫して上昇しており、平成 22 年には 34.2%となっている。

図 1 人口および高齢化率の推移

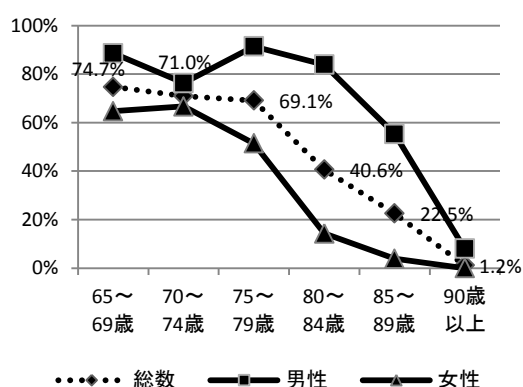


資料：各年の国勢調査

(2) 普通自動車免許証の保有状況

- 高齢者の普通自動車免許証の保有状況は、保有者数は 1,702 人で、保有率は 57.2%となっている。
- 普通自動車免許所の保有率は女性が低く、また 80 歳以上では保有率が非常に低い。

図 2 普通自動車の免許証の保有率



資料：鹿児島県警察本部および住民基本台帳のデータから作成

(3) 関連施設

- 医療機関は病院・診療所が 3 施設、歯科が 3 施設、野間校区に立地している他に、南種子町と共同で設立している公立種子島病院が南種子町に立地している。
- 商業施設は、買い物の中心となるスーパー等が野間校区に 3 店舗が立地している。
- 金融機関は、銀行等が 2 箇所、郵便局が 8 箇所、J A が 1 箇所立地しているが、納官校区には金融機関が立地していない。

表 1 関連施設の立地状況

区分	校区	名称
医療機関	野 間	田上病院田上診療所
	〃	中種子クリニック
	〃	高岡医院
	〃	羽生歯科医院
	〃	鎌田歯科医院
	〃	たなか歯科医院
商業施設	野 間	A コープ中種子店
	〃	サムズ中種子店
	〃	永浜ストアー

区分	校区	名称
金融機関	星 原	星原郵便局
	増 田	増田郵便局
	野 間	鹿児島銀行中種子支店
	〃	鹿児島相互信用金庫中種子支店
	〃	J A 種子屋久中種子支所
	〃	中種子郵便局
	〃	伏之前簡易郵便局
	油 久	油久簡易郵便局
	南 界	熊野簡易郵便局
	〃	坂井郵便局
	岩 岡	岩岡簡易郵便局

2. 公共交通の現状

(1) 路線バス

- 路線バス等は、大和バスが路線バスおよび空港バスを運行しており、いずれの路線とも、町外と結ぶ運行ルートとなっている。

表2 路線バスの運行内容

区分	路線	運行区間	運行本数
路線バス	西之表方面	宇宙センター～南種子Aコープ前～野間～西之表港～種子島高校前	10 便
	南種子町方面	種子島高校前～西之表港～野間～南種子Aコープ前～宇宙センター	10 便
空港バス	南種子空港線	南種子Aコープ前～野間～空港	4 便
	空港南種子線	空港～野間～南種子Aコープ前	4 便

資料：大和バス

(2) コミュニティバス

- コミュニティバスは、星原・納官線、十六番・増田線、坂井・油久線、長谷・岩岡線、公立病院東回り線、公立病院西回り線の6路線を大和バスに委託して運行している。

表3 コミュニティバスの運行内容

路線名	経路	運行日	運行時刻
星原・納官線	上牧川～平鍋～大牟礼～阿保～野間～運動公園	月～金	上り 8:35 発／ 下り 12:20 発
十六番・増田線	差合～十六番～中之町～千草～中山～野間～保健センター	月～金	上り 8:28 発／ 下り 12:20 発
坂井・油久線	熊野～坂井～輪之尾～油久～広ヶ野～阿曾～野間～保健センター	月～金	上り 9:20 発／ 下り 12:20 発
長谷・岩岡線	長谷～中田～梶潟～阿高磯～広ヶ野～野間～保健センター	月～金	上り 9:00 発／ 下り 12:20 発
公立病院東回り線	中種子中学校～野間～広ヶ野～油久～熊野～中田～長谷～公立病院前	月・水・金	上り 8:10 発／ 下り 13:30 発
公立病院西回り線	中種子中学校～野間～広ヶ野～阿高磯～梶潟～長谷～公立病院前	月・水・金	上り 8:10 発／ 下り 13:30 発

(3) スクールバス

- スクールバスは、中学校の生徒の送迎を目的として運行しているが、一般の人も混乗できることとなっている。
- 路線は、星原・納官線、十六番・増田線、坂井・油久線、長谷・岩岡線の4路線で、運行ルートは、郊外部ではコミュニティバスと同じルートとなっている。

表4 スクールバスの運行状況

路線	運行日・時刻	上り	下り		
			①土・日・祝日	②月～土	③月～金
星原・納官線		7:20	12:15	17:00	18:45
十六番・増田線		7:22:			
坂井・油久線		7:24			
長谷・岩岡線		7:25			

資料：中種子町教育委員会

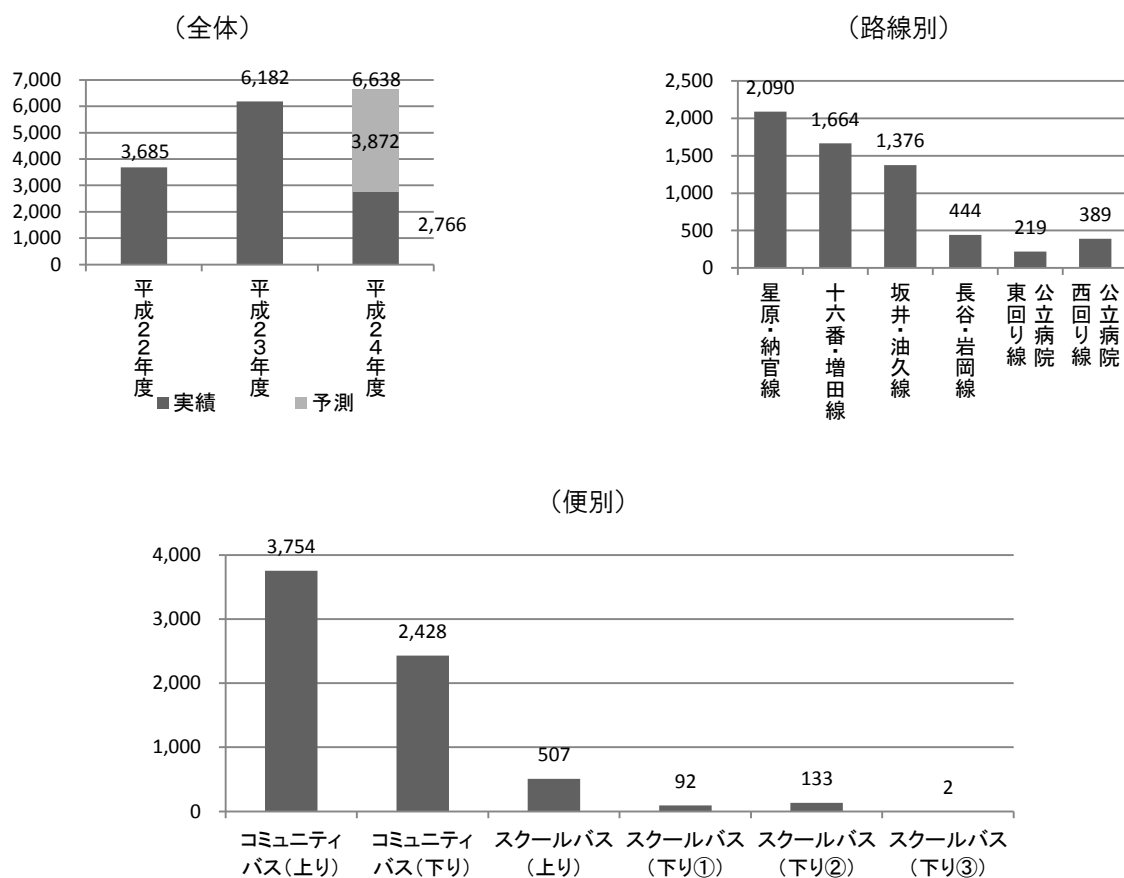
(4) 交通空白地域の状況

- 本町には路線バス、コミュニティバスのいずれも運行していない交通空白地域として、深久保、宝来、秋佐野、戸畑、大久保、女洲の6集落がある。

(5) コミュニティバスの利用状況

- コミュニティバス（スクールバスを除く）の総利用者数は、平成22年度が3,685人、平成23年度が6,182人となっており、平成23年度は前年度に対して67.3%の高い伸びとなっている。
- 平成23年度の路線別の利用者数は、星原・納官線（2,090人）、十六番・増田線（1,664人）、坂井・油久線（1,376人）、長谷・岩岡線（444人）、公立病院線東回り線（219人）、公立病院西回り線（389人）となっている。
- 便別の利用者数は、上りが3,754人なのに対し、下りは2,428人となっている。

図3 コミュニティバスの利用状況



資料：中種子町企画課

3. 乗降調査

[調査の概要]

■調査対象

中種子町内を運行しているコミュニティバス6路線

(星原・納官線、十六番・増田線、坂井・油久線、長谷・岩岡線、公立病院東回り線、公立病院西回り線)

■調査期間

9月10日(月)～14日(金)の5日間

■調査方法

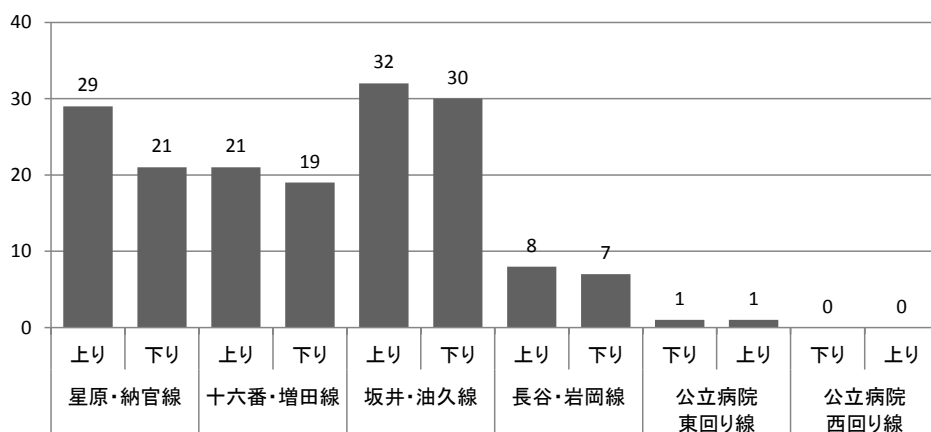
調査員が、バスに乗車して調査を行った。なお、調査員は中種子町シルバー人材センターに委託して実施した。

[調査結果の概要]

■利用状況

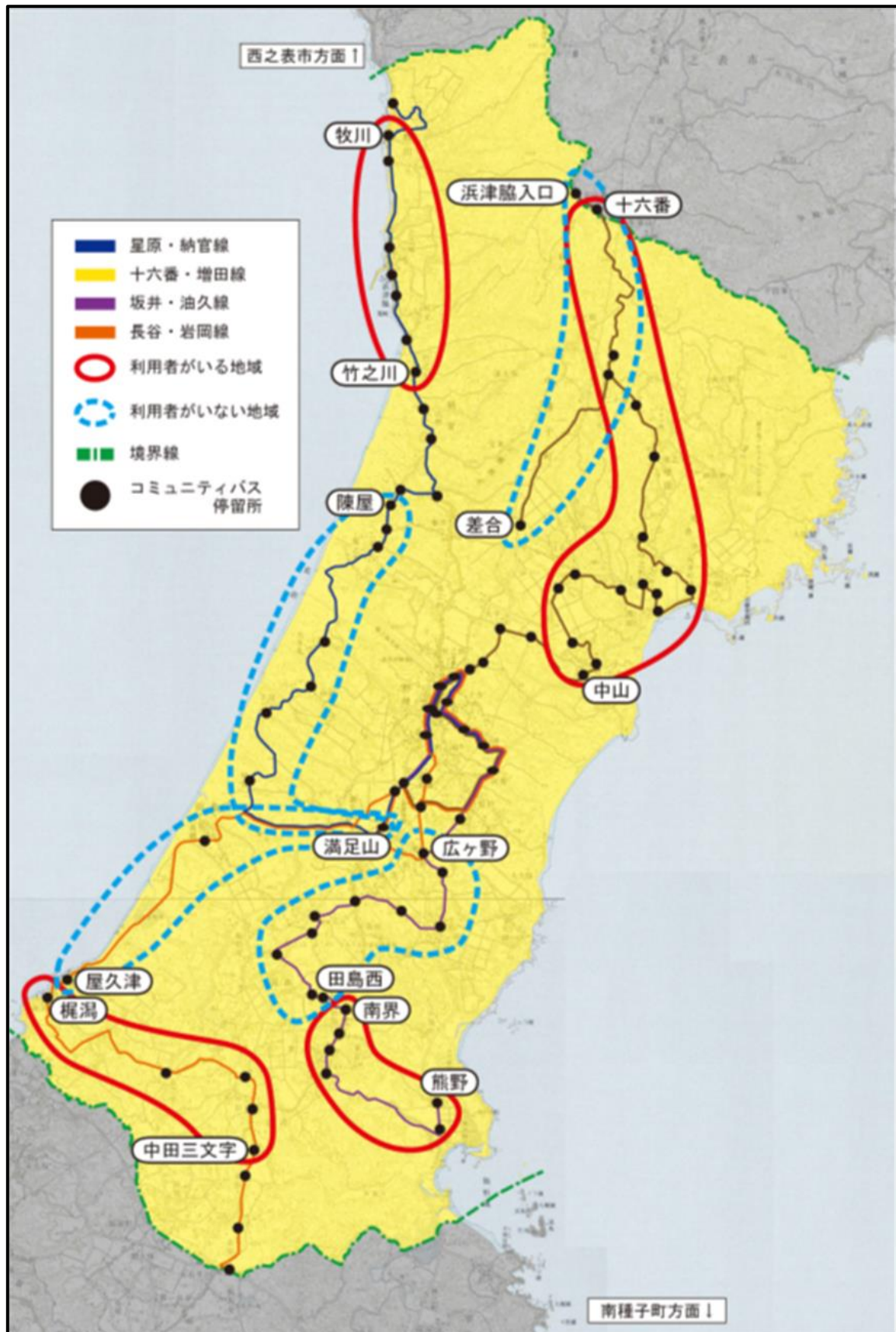
- 調査期間における利用者数は169人で、路線別では、「坂井・油久線」が最も多く、次いで「星原・納官線」、「十六番・増田線」、「長谷・岩岡線」、「公立病院東回り線」、「公立病院西回り線」の順であった。
- バス停別の利用状況は、星原・納官線では、「牧川～竹之川」の区間に利用者が集中しており、「陣屋～満足山」の区間では、ほとんど利用者がいない。
- 十六番・増田線では、「十六番～中山」の区間でまんべんなく利用されているが、「差合～浜津脇入口」の区間ではまったく利用者がいない。
- 坂井・油久線では、「熊野～南界」の区間で利用者が集中しており、「田島西～広ヶ野」の区間ではほとんど利用者がいない。
- 長谷・岩岡線では、「梶淵」バス停での利用がある程度ある他は、いずれのバス停でも利用者は少ない。
- 公立病院東回り線では、ほとんど利用者がいないが、「熊野」と「公立病院前」で乗降がある。
- 公立病院西回り線では、利用者がいなかった。

図4 各路線の乗降人数



資料：乗降調査

図5 コミュニティバスの利用状況

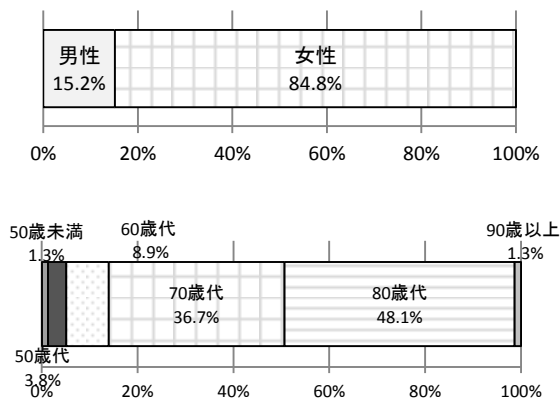


資料・乗降調査より作成

■利用者の属性

- 利用者は、女性が8割以上となっており、年代は70歳以上が9割近くを占めている。

図6 利用者の属性

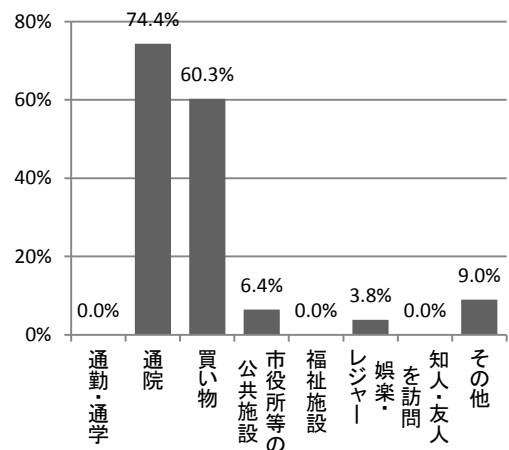


資料・乗降調査

■利用目的

- コミュニティバスの利用目的は、「通院」と「買い物」を同時にする人が非常に多い。

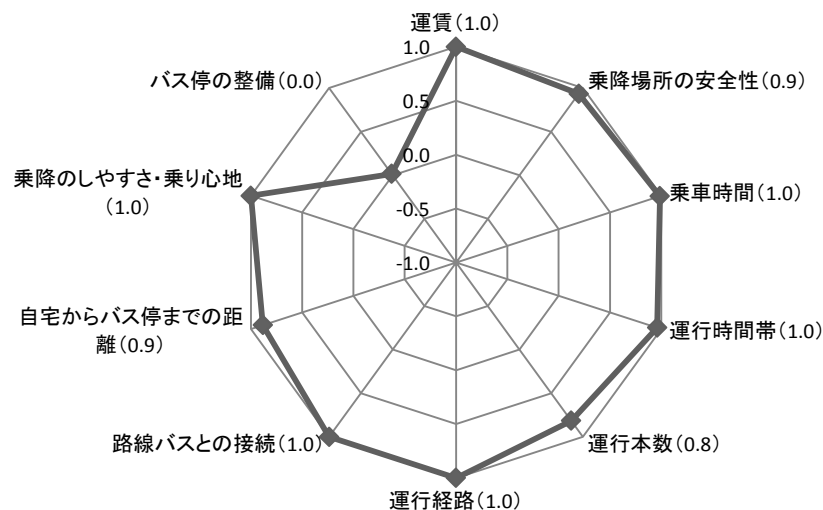
図7 コミュニティバスの利用目的



■コミュニティバスへの評価

- コミュニティバスに対する評価は、いずれの項目も非常に評価が高い。その中で、「バス停の整備」についての評価が低い。

図8 コミュニティバスに対する評価



資料・乗降調査

4. 町民アンケート

[アンケートの概要]

■調査対象

中種子町内の全世帯

■サンプル数

配布数：3,666／回収数：2,527
(回収率：68.9%)

■調査時期

9月～10月

■調査方法

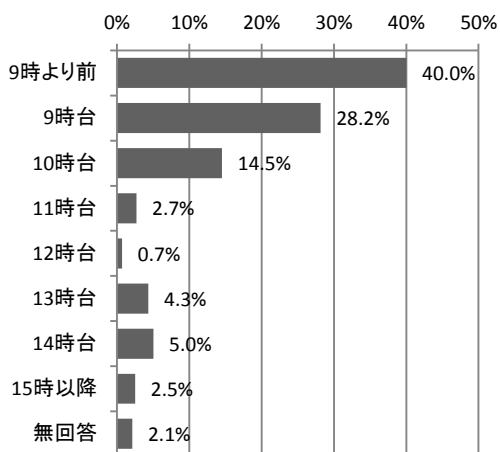
集落長等を通じて配布・回収を行った。

[アンケート結果の概要]

■通院および買い物の状況

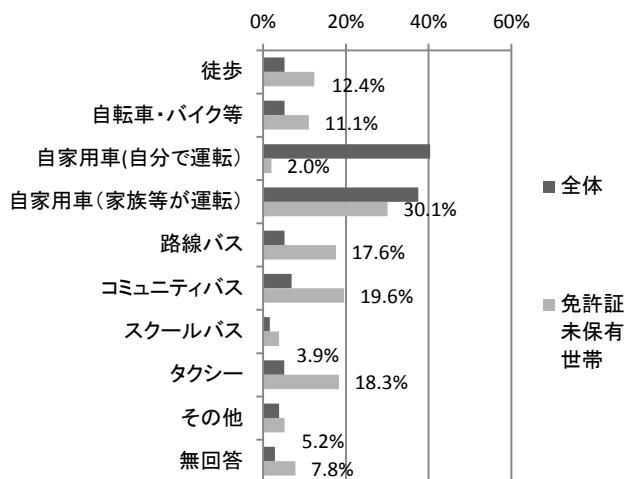
- 通院の時間帯は、午前中に通院する人が9割弱で、その中でも9時台までに通院する人が約7割と非常に多い。
- 普通自動車免許証未保有世帯では、通院の際の交通手段はバスやタクシーが非常に多く利用されている。
- 買い物の時間帯は、夕方と午前中が中心で、高齢者は午前中に買い物をする人が多くなる。
- 普通自動車免許証の未保有世帯では、買い物の際の交通手段は「徒歩」、「自転車・バイク・電動カー」、「コミュニティバス」などの自家用車以外の交通手段は非常に多くなる。

図9 通院の時間帯



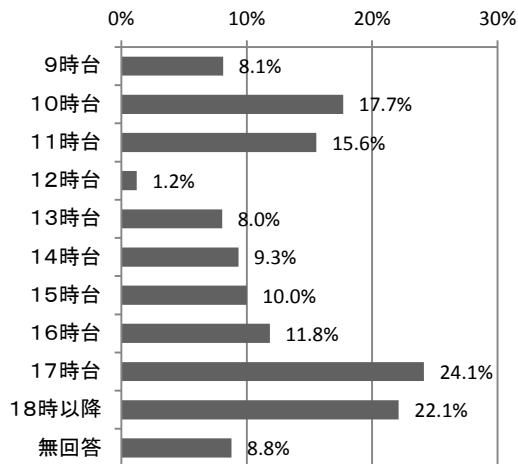
資料：町民アンケート

図10 通院の際の交通手段



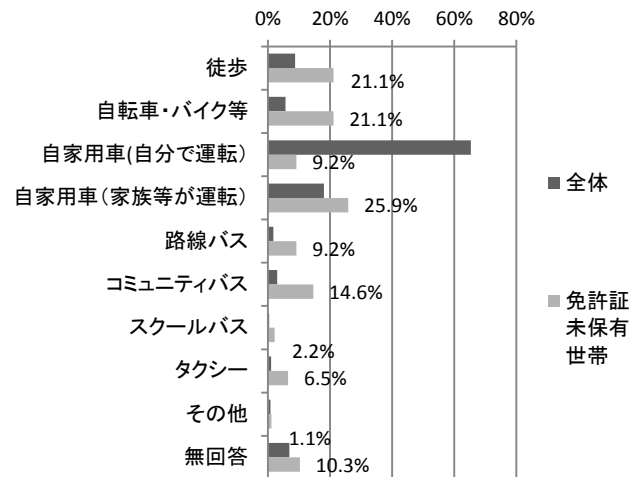
資料：町民アンケート

図 11 買い物の時間帯



資料：町民アンケート

図 12 買い物の際の交通手段

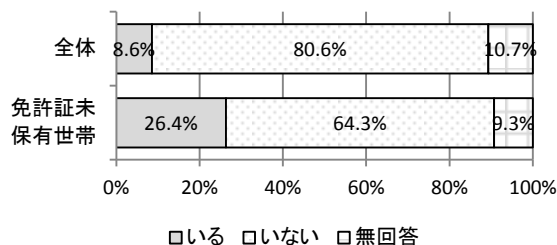


資料：町民アンケート

■コミュニティバスの利用状況および今後のあり方

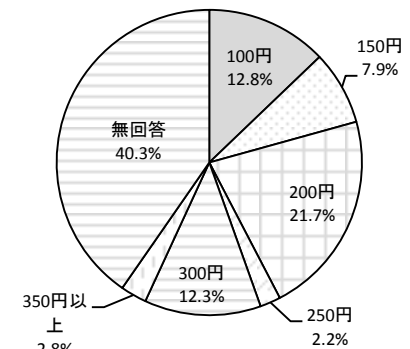
- コミュニティバスの利用率は 1 割に満たないが、普通自動車免許証未保有世帯では、回答者の 3 割弱がコミュニティバス等を利用している。
- 支払っても良い運賃水準は、「200 円」が最も多く、回答者のうち、現状の運賃水準を望む意見は約 2 割にとどまっており、約 8 割の人は値上げを容認している。
- 運行してほしい時間帯は、上りは「8：00 頃」を中心に、午前中の早い時間帯の運行を望む意見が多く、下りは「12：00 頃」を中心に、昼前と夕方の運行を望む意見が多い。

図 13 コミュニティバスの利用状況



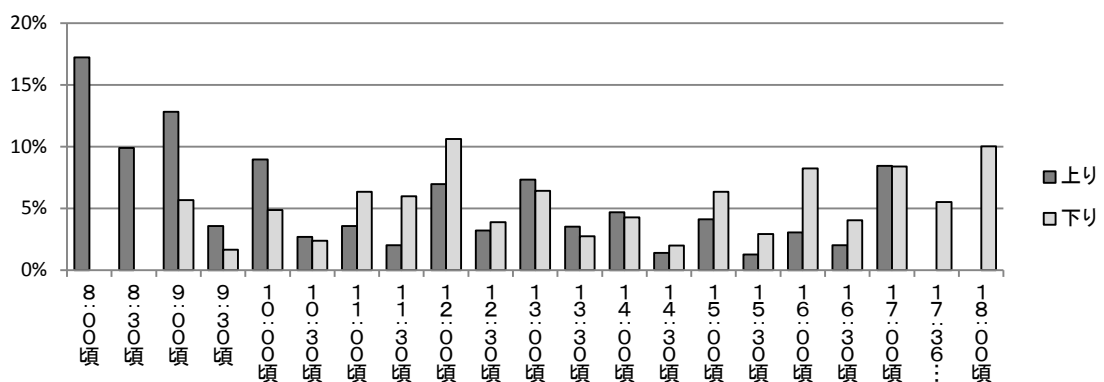
資料：町民アンケート

図 14 支払っても良い運賃水準



資料：町民アンケート

図 15 運行してほしい時間帯



資料：町民アンケート

5. 課題

課題① バスが運行していない交通空白地域・交通不便地域が残されている。

本町のコミュニティバスの運行ルートは、スクールバスとほぼ同じルートとなっているため、路線バス、コミュニティバスのいずれも未運行の地域が残されている。

→交通空白地域への交通手段の確保を図ることが必要

課題② 利用者が極端に少なく、非効率な運行となっている路線がある。

現在運行しているコミュニティバスは、利用者が多い路線と少ない路線があるが、特に公立病院東回り線および西回り線は利用者が極端に少ない。

→運行ルート、運行日、運行形態等の見直しが必要

課題③ 運行ルートの中で、利用者が極端に少ない区間がある。

コミュニティバスの運行ルートの中には、利用者が極端に少ない区間があり、これらは、路線バスと運行ルートが重複している区間や町の中心部に近いため利用が少ないと思われる区間などがある。

→運行ルートやバス停の設置箇所などの見直しが必要

課題④ 市街地のバス停が、目的地である一部の医療機関に対応していない。

町の中心部においては、バス停が近接していない医療機関があり、これらの医療機関へのアクセスについては、バス利用が困難で、バス利用がほとんどない状況にある。

→バス利用の目的地である商業施設や医療機関に近接したバス停を設置し、利用者の利便性向上を図ることが必要

課題⑤ スクールバスが、利用の目的地や乗り継ぎのバス停まで運行していない。

スクールバスの最終停留所が中種子中学校となっているため、一般利用者の利用目的である医療機関や商業施設までのアクセスが悪い。

→町の中心部におけるスクールバスの運行ルートを検討することが必要

課題⑥ 運行日が利用ニーズに十分には対応できていない。

土曜日に医療機関に通院する場合は、コミュニティバスが運行していないため利用できない。また、公立種子島病院で眼科や耳鼻科などの診療を行っているが、診療日にコミュニティバスが運行していない。

→利用者の利用目的にあわせた運行日への見直しが必要

課題⑦ 下りの運行時間帯が利用ニーズに対応できておらず、上りに比べて下りの利用者が非常に少ない。

コミュニティバス等の利用状況は、上りに比べて下りの利用者数が非常に少ないが、これは複数の病院に行くなど用事に時間がかかる事や、西之表市の医療機関に行って帰ってきた場合など、現在の昼過ぎの下りの便では、時間が間に合わないことが大きな要因と考えられる。

→コミュニティバスを往復で利用できるようにするために、下りの午後の便の増便等の対応を図っていくことが必要

6. 地域公共交通総合連携計画

(1) 基本理念・基本方針

[基本理念]

交通弱者等の利用ニーズを十分に反映しながら、効率的な運営が可能なコミュニティバス等の運行体制を確立することにより、すべての町民が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを進める。



基本方針① コミュニティバス等の未運行地域の解消

路線バスおよびコミュニティバス等が運行しない地域を解消することにより、町民へ公平なサービスを提供するとともに、交通弱者等の公共交通手段の確保を図る。

基本方針② 効率的な運行体制の確立

コミュニティバス等の運行形態は、定時定路線のバス運行を基本としつつ、利用者数の見込みや運行区域等を勘案して一部路線に予約型乗合タクシーを導入し、効率的な運行体制を確立する。

基本方針③ 利用者が使いやすい運行ルート形成

コミュニティバス等の運行ルートは、交通弱者等の居住状況や利用目的地とのアクセス等を十分に考慮しつつ、乗車時間をできるだけ短縮できるように設定し、利用者にとって使い勝手が良い運行ルートを形成する。

基本方針④ 利用目的にあった運行日・時間の設定

コミュニティバス等の運行日、運行時間は、幹線交通との接続やスクールバスの運行時間とのバランスなどに配慮しながら、交通弱者等にとって通院や買い物等がしやすい運行日、運行時間を設定する。

(2) 運行形態の考え方

運行形態については、運行経費等を勘案し定時定路線のバス運行を基本とするが、定時定路線のバス運行が不向きであると考えられる地域においては予約型乗合タクシーを導入することとし、その導入にあたっては下記に示す要件に該当する地域に導入を図ることとする。

[予約型乗合タクシーの導入の要件]

①利用者数が非常に少ないと見込まれる地域であること。

※1 便あたりの平均利用者数がおおむね2人未満と見込まれること。

②集落が広く点在しており、バス路線による運行では利用者数が少ない割に、運行時間が長時間になること、あるいは、当該地域へバス路線を迂回した場合、路線全体の運行時間が長時間になること。

(3) 地域公共交通総合連携計画の区域

計画区域は、中種子町内および(南種子町の一部とする。

(4) 地域公共交通総合連携計画の目標

「利用者数の増加」を計画の目標とし、下記の数値目標を設定する。

●目 標：利用者数の増加

●数値目標：平成 28 年度利用者数 9,000 人

(参考) 平成 23 年度比：+46.3%、平成 23 年度実績：6,152 人

(3) 目標を達成するために行う事業

■コミュニティバス利便性強化事業

(概要)

星原・納官線、十六番・増田線、坂井・油久線、長谷・岩岡線の 4 路線（以下コミュニティバス 4 路線という。）については、現行通り定時定路線のバス運行を行う。また、交通弱者の居住状況や利用目的に応じた運行ルートへの見直しを行うとともに、通院や買い物等の利用ニーズに合わせた運行日・時間等への見直しを行う。

(事業内容)

ア. 運行ルート	未運行地域の解消ならびに効率的な運行を行うために、利用が見込まれない区域の運行ルートを廃止するとともに、新たな需要が見込まれる区域への運行ルートの拡充およびバス停の新設を行う。また、市街地においては、医療機関等へのアクセスが容易となるように運行ルートの見直しおよびバス停の新設を行う。
イ. 運行本数	西之表市からの路線バスとの接続の利便性を高めるために、月～金については下り便を増便し、上り 1 便、下り 2 便の運行とする。 また、土曜日については上り 1 便を新たに運行する。
ウ. 運行日	通院利用者の利便性を高めるために、土曜日を運行日に追加し、月～土の週 6 日運行とする。なお、星原・納官線および長谷・岩岡線で新たに追加する迂回ルートについては、需要を見極めるために、当面の間は月・木の週 2 日の運行とする。
エ. 運行時間	星原・納官線、十六番・増田線の上り 1 便および下り 2 便については、現行の運行時間と同様とする。また、下り 3 便については、西之表市方面からの乗り継ぎやスクールバスの運行時間とのバランスを考慮して運行時間を設定する。 一方、坂井・油久線、長谷・岩岡線の上り 1 便については、通院ニーズが高い時間帯に対応するために、運行時間を現行よりも早い運行時間に変更する。また、下り 2 便については現行の運行時間と同様とし、下り 3 便については、西之表市方面からの乗り継ぎやスクールバスの運行時間とのバランスを考慮して運行時間を設定する。
オ. 使用車両	バス車両とする。
カ. 運賃	運賃は、1 乗車あたり 100 円均一とする。また、障害者等および普通自動車免許証自主返納者については半額の 50 円とする。

(事業主体等および計画期間)

ア. 事業主体	中種子町とする。
イ. 実施主体	バス事業者とする。
ウ. 計画期間	平成 26 年度から実施する。

■予約型乗合タクシー運行事業

(概要)

公立病院東回り線、西回り線は、利用者数が非常に少なく、利用者がいない区間も非常に多いことから、効率的な運行を図るために路線を定めず区域を運行し、予約に応じて運行する予約型乗合タクシーを導入する。また、コミュニティバスが運行していない地域やコミュニティバスの運行を廃止する地域を対象に、三浜線（仮称）、秋佐野線（仮称）、女洲線（仮称）の 3 路線を設け、予約型乗合タクシーを導入することにより未運行地域の解消を図る。

(事業内容)

ア. 運行ルート	現在、公立病院東回り線、西回り線がそれぞれ運行している路線に位置する集落を各路線の運行区域とし、その区域と公立種子島病院を結ぶ区域運行とする。ただし、運行する集落の中で、路線バスが運行している集落については、運行区域から除外することとする。 また、三浜線（仮称）、秋佐野線（仮称）、女洲線（仮称）については、コミュニティバス等の未運行地域等を運行地域として設定し、その区域と市街地を結ぶ区域運行とする。
イ. 運行本数	利用者数が少ないことから、当面の間は上り 1 便、下り 1 便の計 2 便の運行とする。
ウ. 運行日	公立病院東回り線および西回り線については、当面の間は現行通り週 3 日の運行とするが、町内の医療機関では公立種子島病院のみが診療している診療科目（眼科、耳鼻科）の利用に対応するために、現在の月・水・金の運行から、月・火・木の運行に変更する。 また、三浜線（仮称）、秋佐野線（仮称）、女洲線（仮称）については、需要を見極めるために当面の間は水・金の週 2 日の運行とする。
エ. 運行時間	公立病院東回り線、西回り線については、公立種子島病院の診療の開始および終了時間に合わせる形で運行時間を変更する。また、三浜線（仮称）、秋佐野線（仮称）、女洲線（仮称）については、通院ニーズへの対応を基本にしつつ、路線バスとの乗り継ぎ等を考慮した運行時間を設定する。
オ. 使用車両	タクシー車両とする。なお、予約人数が多いときは、複数の車両を運行するかジャンボタクシーによる運行を行う。
カ. 運賃	運賃は距離別運賃制を導入し、5km 未満は 200 円、5km～7.5km は 300 円、7.5km～10km 未満は 400 円、10km 以上は 500 円とする。なお、障害者等および普通自動車免許証自主返納者については半額とする。

(事業主体等および計画期間)

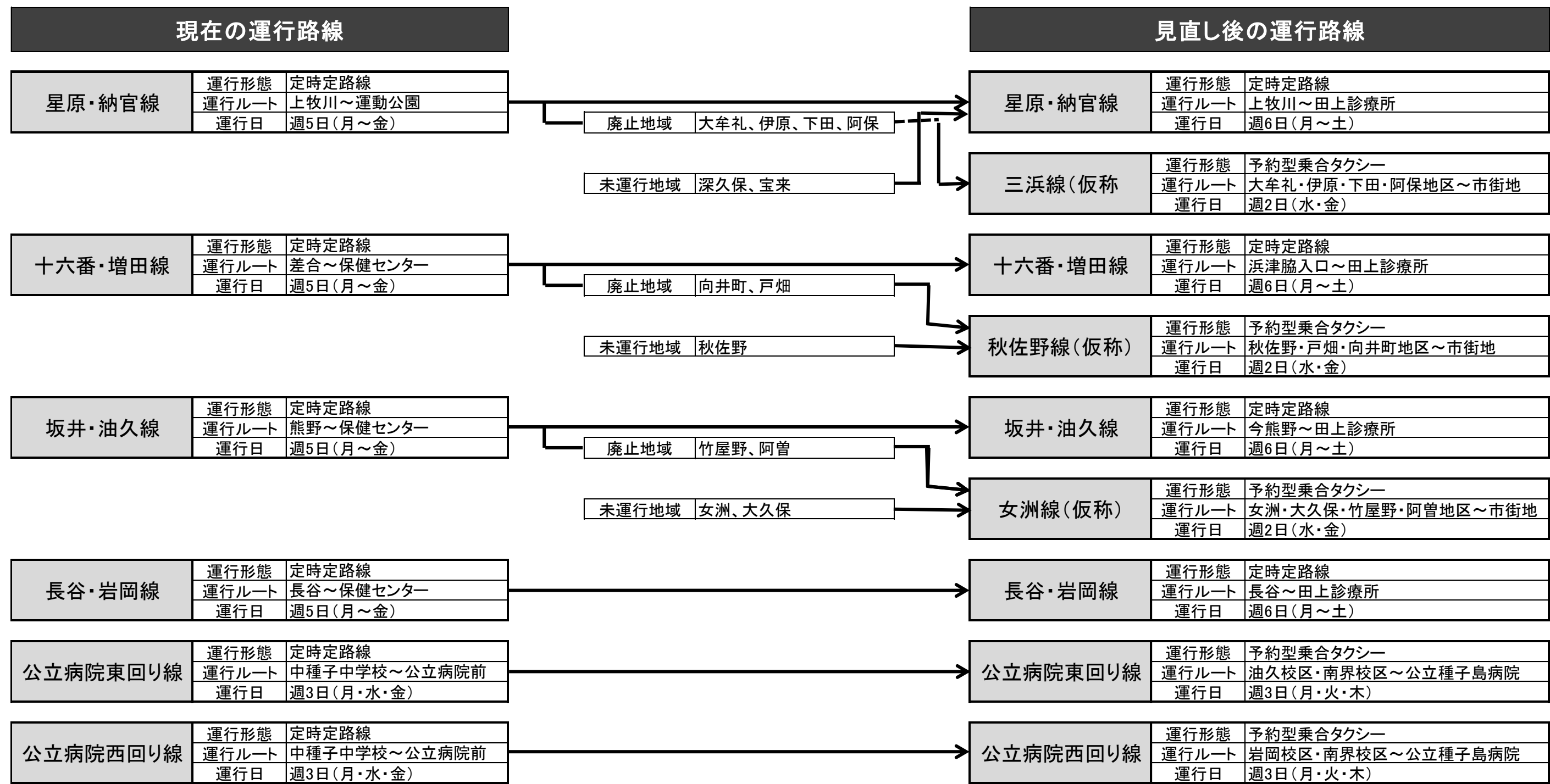
ア. 事業主体	中種子町とする。
イ. 実施主体	タクシー事業者とする。
ウ. 計画期間	平成 26 年度から実施する。

■利用促進事業

コミュニティバス等の利用促進を図るために、下記の取り組みを行う。

- パンフレット作成等 PR 事業
- バス停等環境整備事業
- 乗合タクシー体験乗車事業
- 回数券発行事業

(4) 見直し後の運行路線

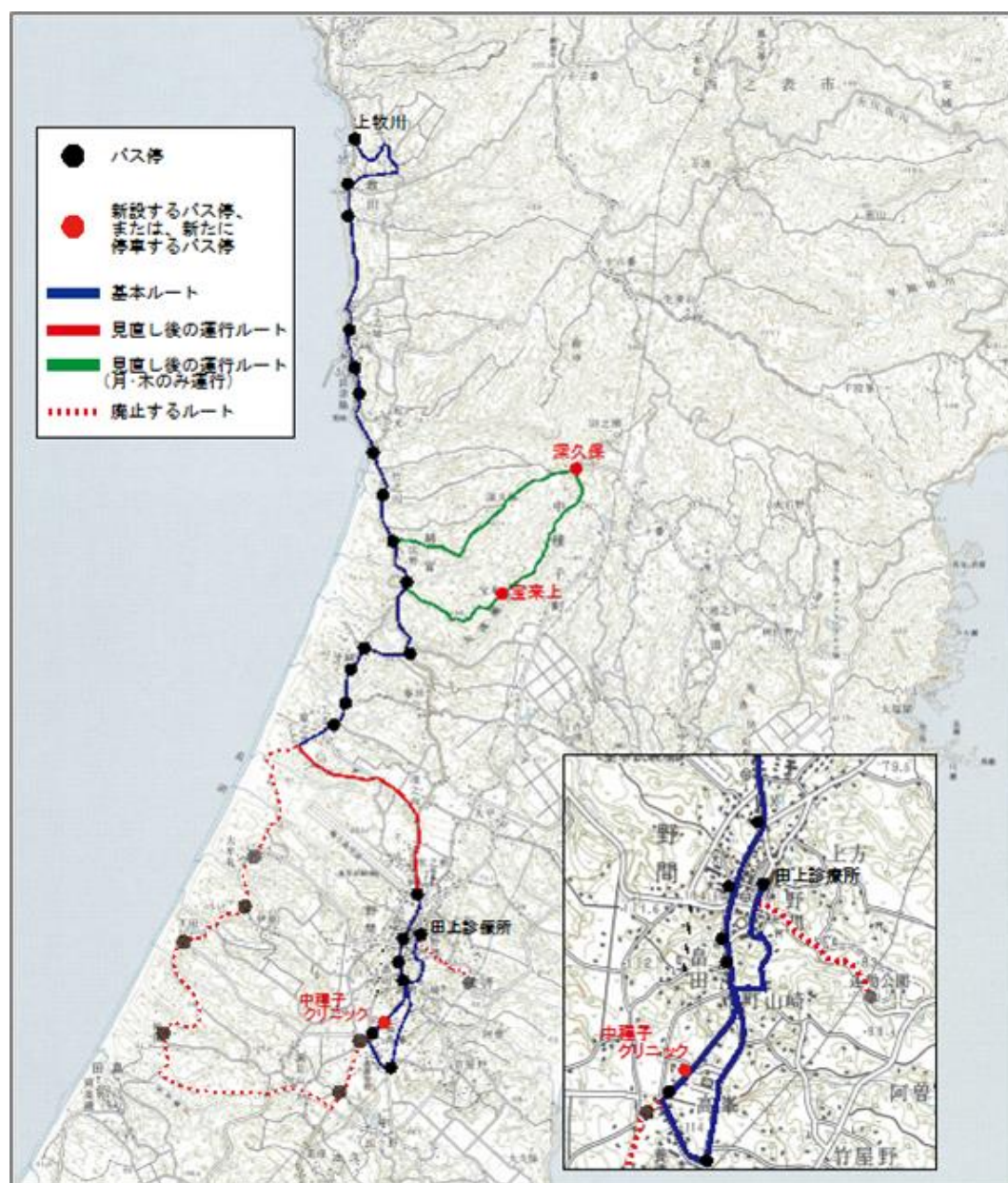


6. 各路線の運行内容

(1) 星原・納官線

運行形態	定時定路線によるバス運行
運行ルート	上牧川～田上診療所 ※月、木のみ「深久保」「宝来上」を迂回
運行日	週6日（月～土）
運行本数	月～金：上り1便、下り2便／土：上り1便
運行時刻	上り1便：上牧川8：35 発 下り2便：田上診療所 12：20 発、下り3便田上診療所 14：25 発
使用車両	バス

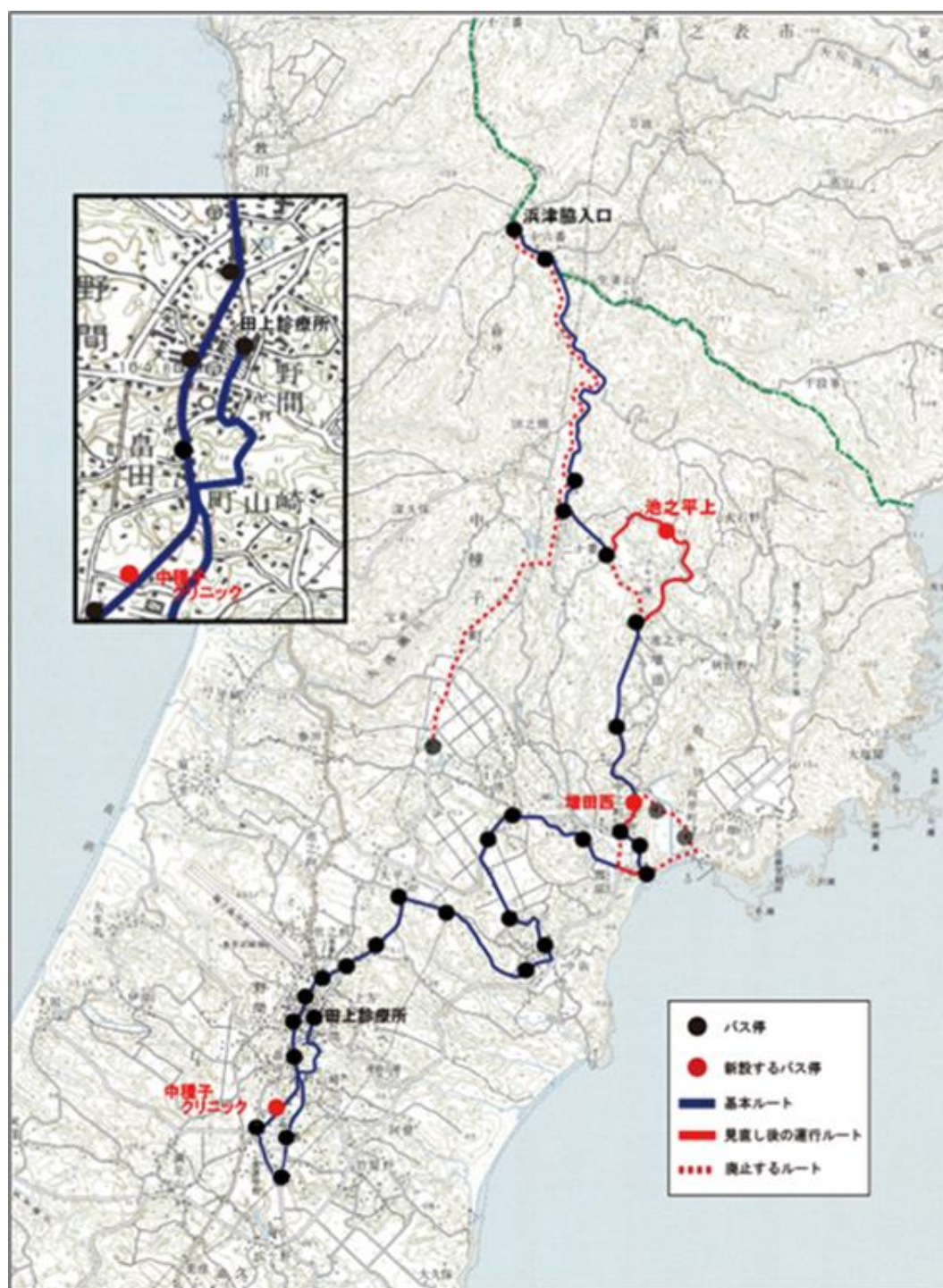
図 16 見直し後の運行ルート（星原・納官線）



(2) 十六番・増田線

運行形態	定時定路線によるバス運行
運行ルート	浜津脇入口～田上診療所
運行日	週 6 日（月～土）
運行本数	月～金：上り 1 便、下り 2 便／土：上り 1 便
運行時刻	上り 1 便：浜津脇 8：40 発 下り 2 便：田上診療所 12：20 発、下り 3 便田上診療所 14：25 発
使用車両	バス

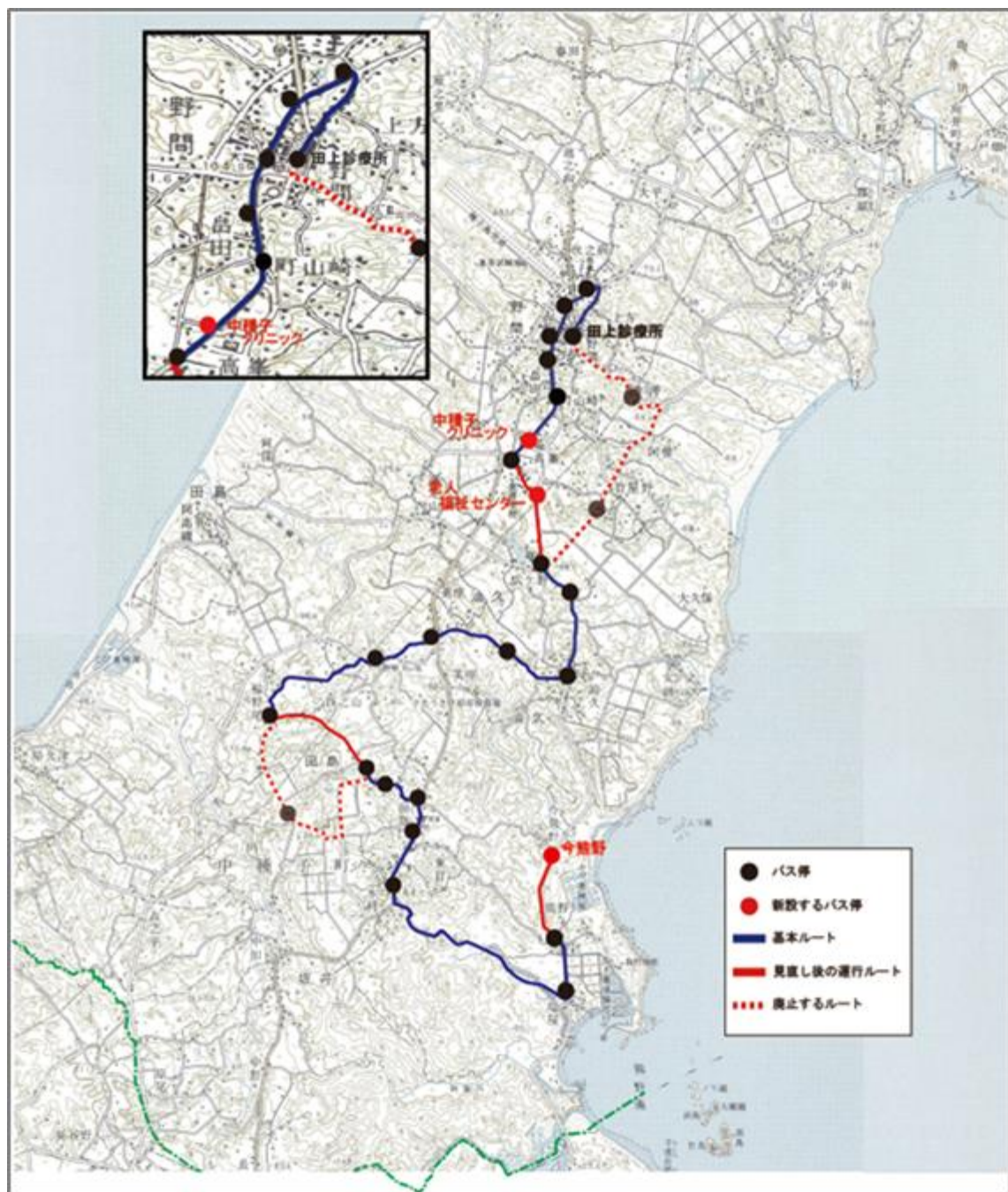
図 17 見直し後の運行ルート（星原・納官線）



(3) 坂井・油久線・

運行形態	定時定路線によるバス運行
運行ルート	今熊野～田上診療所
運行日	週 6 日（月～土）
運行本数	月～金：上り 1 便、下り 2 便／土：上り 1 便
運行時刻	上り 1 便：今熊野 8：30 発 下り 2 便：田上診療所 12：20 発、下り 3 便：田上診療所 14：25 発
使用車両	バス

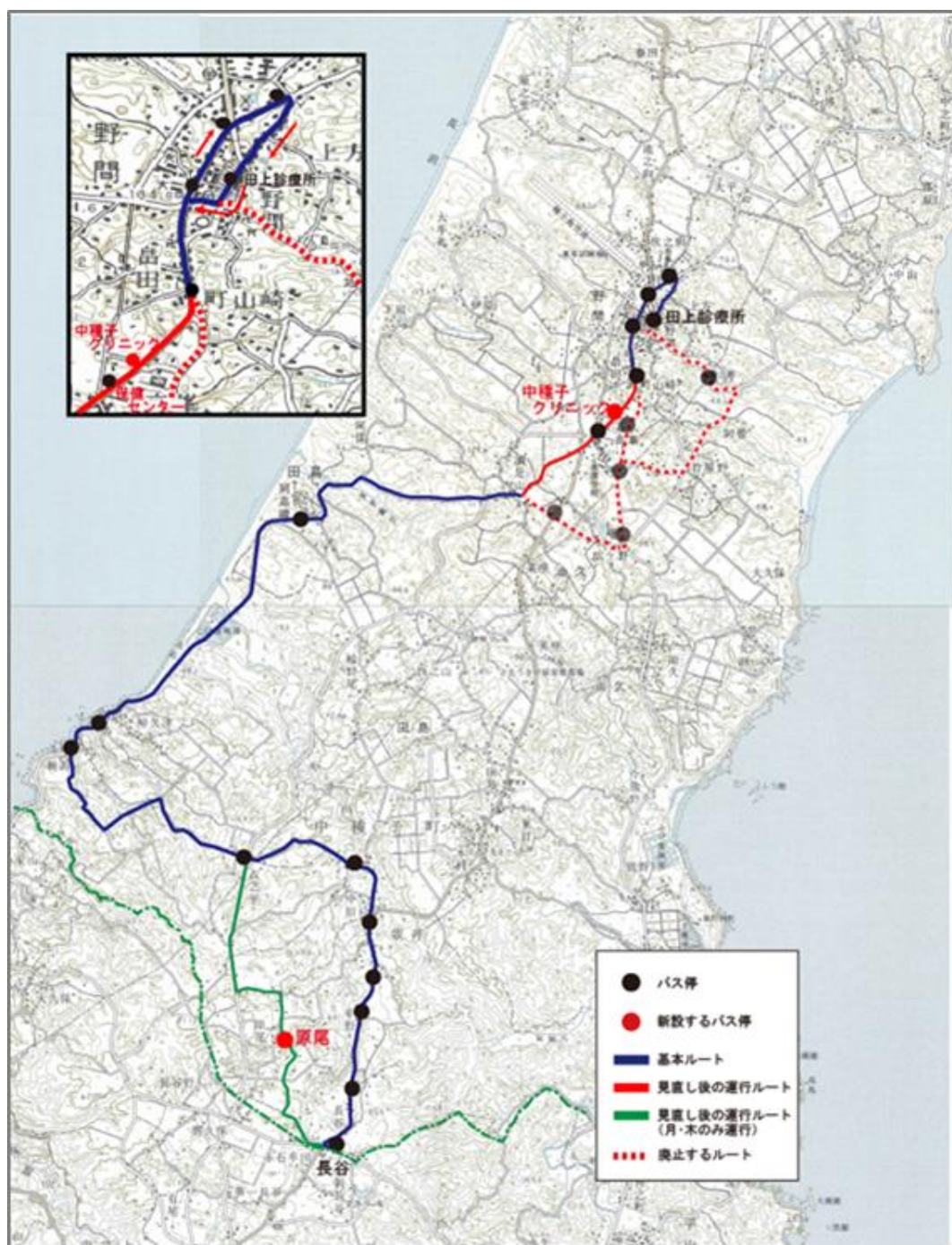
図 18 見直し後の運行ルート（坂井・油久線）



(4) 長谷・岩岡線

運行形態	定時定路線によるバス運行
運行ルート	長谷～田上診療所 ※月、木のみ「原尾」を通過
運行日	週 6 日（月～土）
運行本数	月～金：上り 1 便、下り 2 便／土：上り 1 便
運行時刻	上り 1 便：長谷 8：30 発 下り 2 便：田上診療所 12：20 発、下り 3 便：田上診療所 14：25 発
使用車両	バス

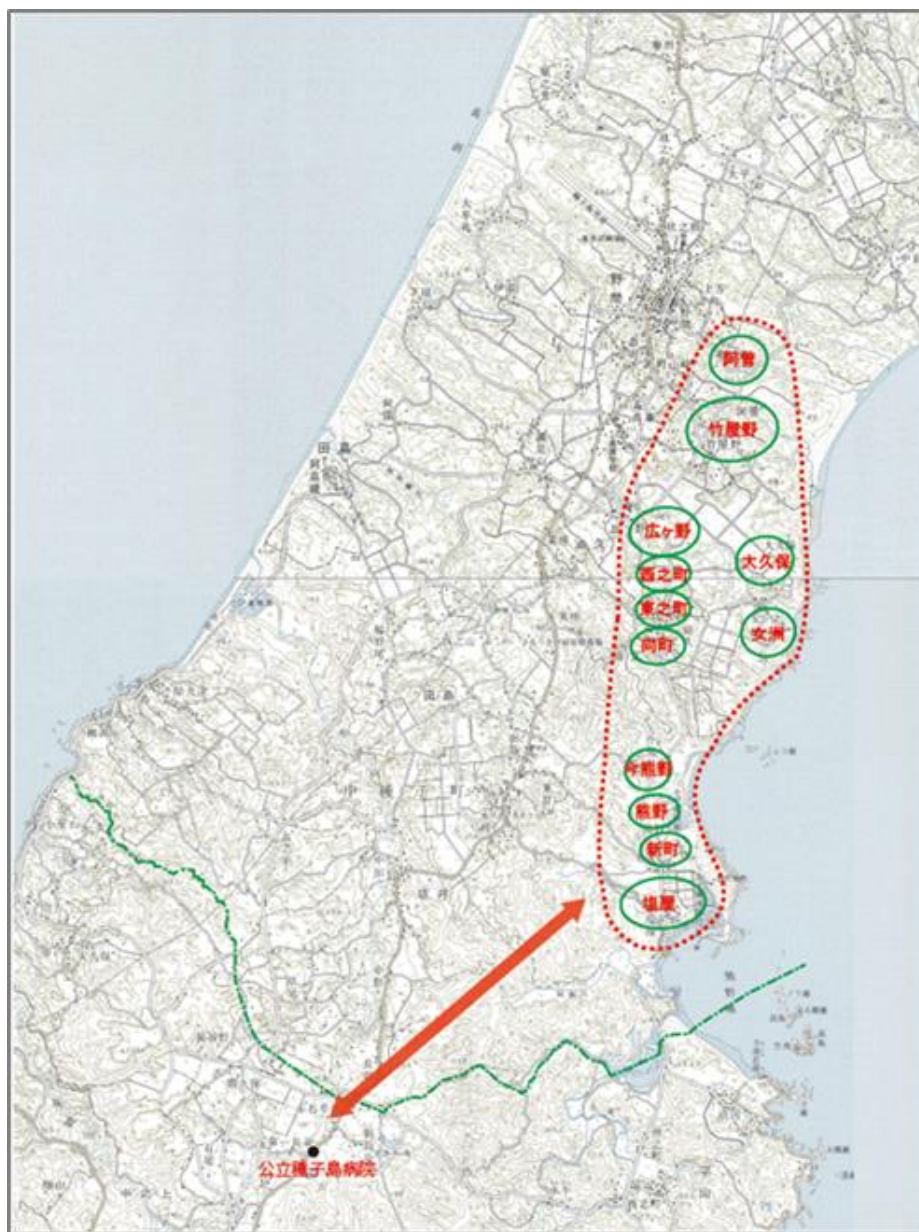
図 19 見直し後の運行ルート（長谷・岩岡線）



(5) 公立病院東回り線

運行形態	予約型乗合タクシーによる区域運行
運行ルート	油久校区・南界校区～公立種子島病院 (運行区域：対象集落) 広ヶ野、女洲、大久保、今熊野、西之町、東之町、向町、熊野、新町、塩屋、竹屋野、阿曾
運行日	週3日(月・火・木)
運行本数	上り1便、下り1便
運行時刻	上り：油久校区・南界校区 8:30～8:45 発 下り：公立種子島病院 12:20 発
使用車両	タクシーまたはジャンボタクシー

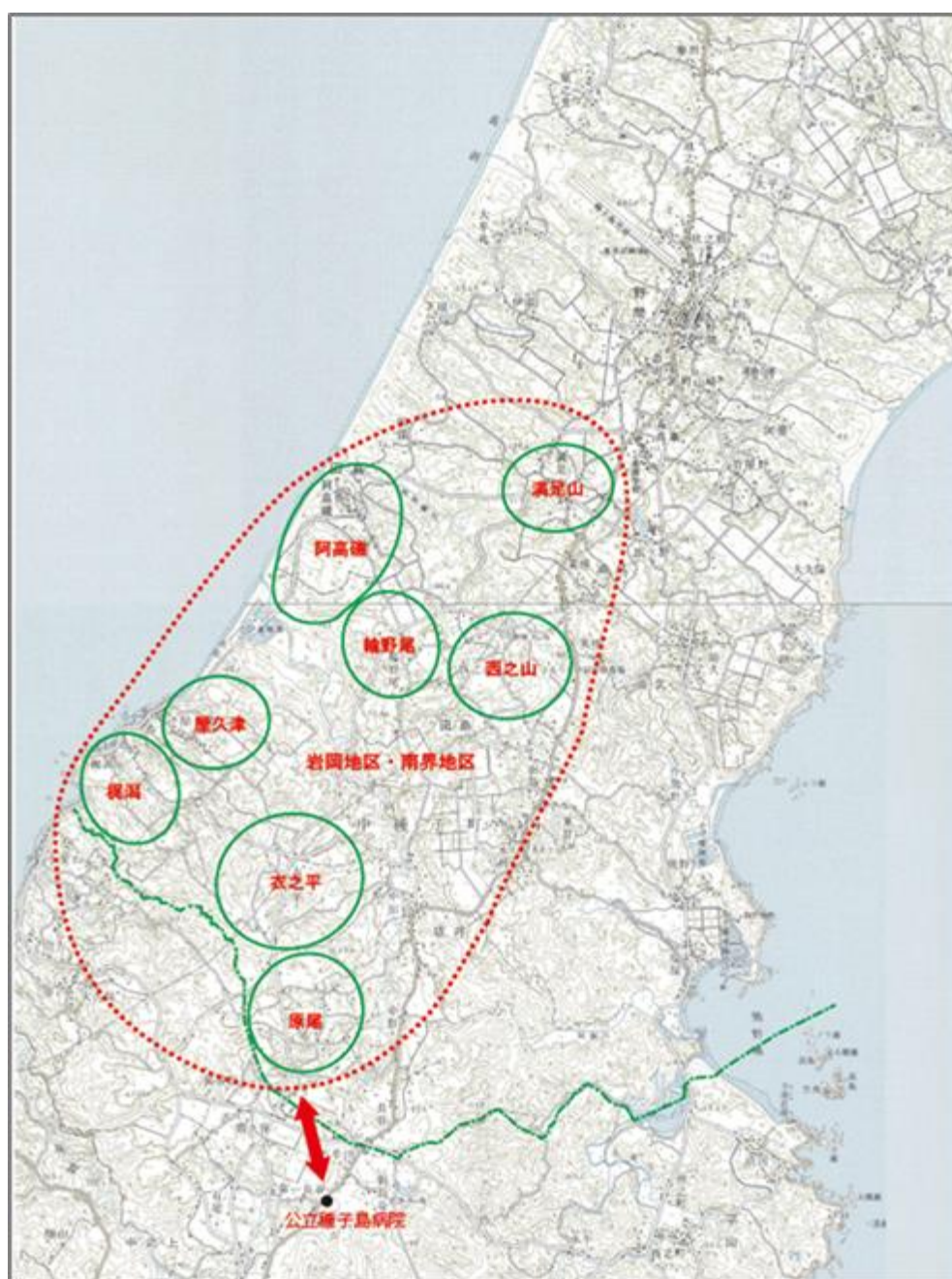
図 20 見直し後の運行ルート（公立病院東回り線）



(6) 公立病院西回り線

運行形態	予約型乗合タクシーによる区域運行
運行ルート	岩岡校区・南界校区～公立種子島病院 (運行区域：対象集落) 満足山、阿高磯、屋久津、梶潟、衣之平、西之山、輪之尾、原尾
運行日	週3日(月・火・木)
運行本数	上り1便、下り1便
運行時刻	上り：岩岡校区・南界校区 8:30～8:45 発 下り：公立種子島病院 12:20 発
使用車両	タクシーまたはジャンボタクシー

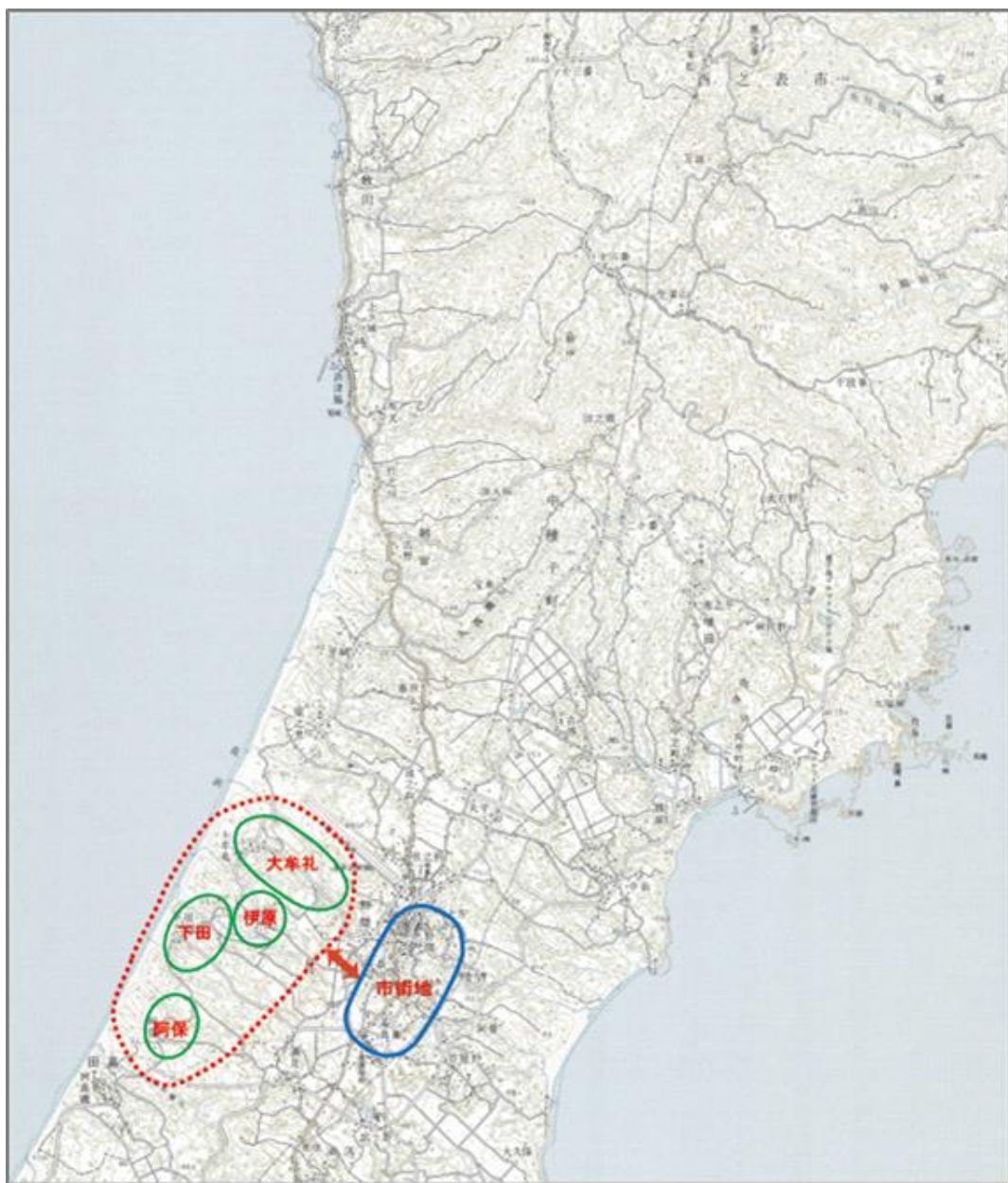
図 21 見直し後の運行ルート（公立病院西回り線）



(7) 三浜線（仮称）

運行形態	予約型乗合タクシーによる区域運行
運行ルート	大牟礼・伊原・下田・阿保地区～市街地 （運行区域：対象集落） 大牟礼・伊原・下田・阿保
運行日	週2日（水・金）
運行本数	上り1便、下り1便
運行時刻	上り：大牟礼・伊原・下田・阿保地区 8：30～8：45 発 下り：市街地 12：20 発
使用車両	タクシーまたはジャンボタクシー

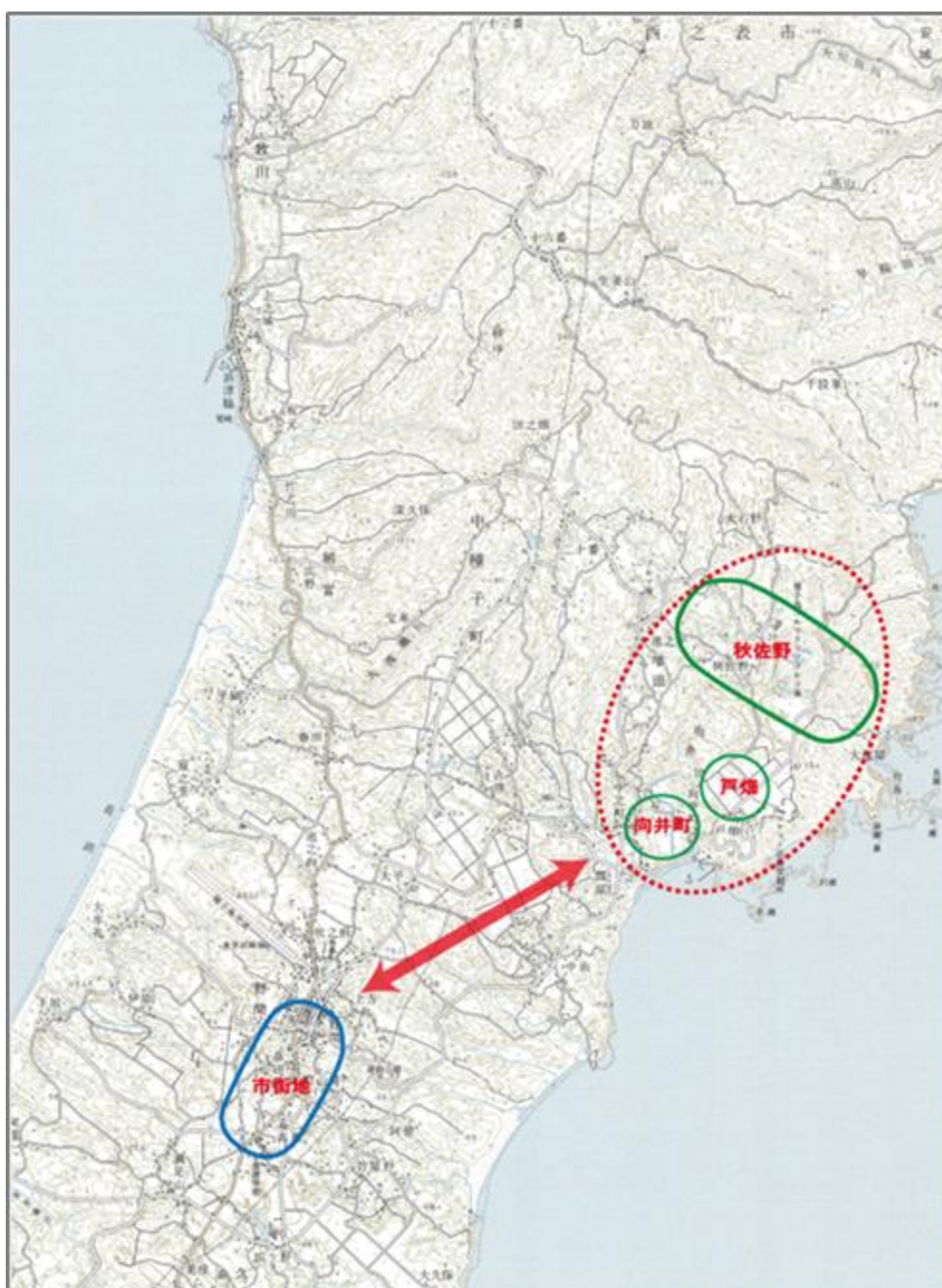
図 22 運行ルート（三浜線（仮称））



(8) 秋佐野線（仮称）

運行形態	予約型乗合タクシーによる区域運行
運行ルート	秋佐野、向井町、戸畑地区～市街地 (運行区域：対象集落) 秋佐野、向井町、戸畑
運行日	週2日（水・金）
運行本数	上り1便、下り1便
運行時刻	上り：秋佐野、向井町、戸畑地区 8：30～8：45 発 下り：市街地 12：20 発
使用車両	タクシーまたはジャンボタクシー

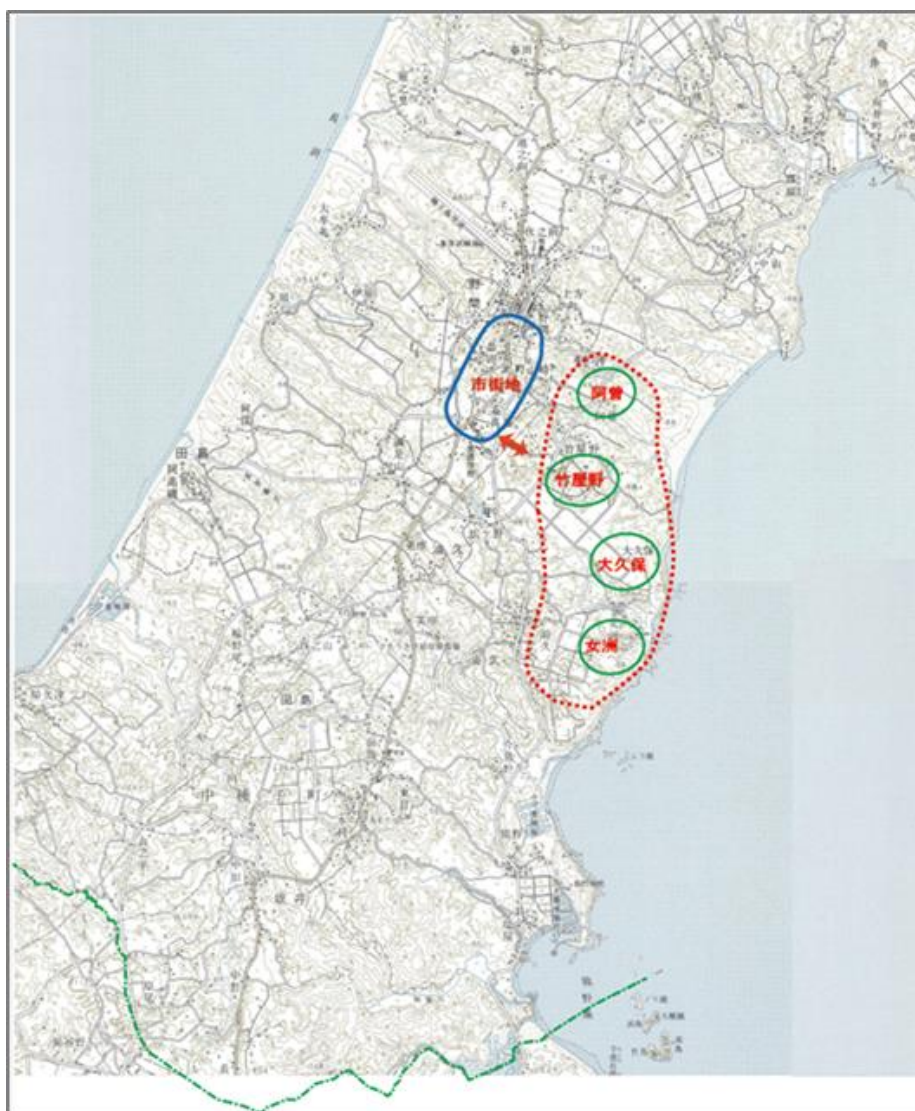
図 23 運行ルート（秋佐野線（仮称））



(9) 女洲線（仮称）

運行形態	予約型乗合タクシーによる区域運行
運行ルート	女洲、大久保、竹屋野、阿曾地区～市街地 （運行区域：対象集落） 女洲、大久保、竹屋野、阿曾
運行日	週2日（水・金）
運行本数	上り1便、下り1便
運行時刻	上り：女洲、大久保、竹屋野、阿曾地区 8：30～8：45 発 下り：市街地 12：20 発
使用車両	タクシーまたはジャンボタクシー

図 24 運行ルート（女洲線（仮称））



本資料に関するお問い合わせ先

中種子町企画課

〒891-3692 熊毛郡中種子町野間 5186 番地／TEL：0997-27-1111

